

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	小児外科学 Pediatric surgery	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
板橋	◎川村 雅文		細田 利史	石岡 茂樹	
—					
—					

	小児外科学Ⅰ（1年次）				小児外科学Ⅱ（2年次）				小児外科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	外科全般の病態生理を理解し、小児外科疾患に関する概要(疫学、病理、分子生物学的背景)を学ぶ。小児外科疾患の診断・治療を行うために必要な基本的な検査手技、手術手技を指導医のもとで学習・習得する。				小児外科疾患の基本的検査法の選択、診断の確定ができる能力を身につける。小児外科患者の病態を理解して、医学的根拠に基づき基本的な治療方針を確定し、実施できる能力を身につける。統計学的処理が行えるための知識の習得と臨床研究が必要十分な条件のもと行えるよう計画できる知識の習得する。				小児外科疾患の処置、手術を学ぶ。チーム医療を指導的立場で実践できる能力を身につける。途中経過に対する検討ができる知識の習得。さらに高度な手術手技を指導医のもとで習得する。小児外科における最新の情報を生産し、発信できる能力を身につける。			
到達目標	小児外科疾患の診断・治療を行うために必要な基本的な検査手技、手術手技を指導医のもとで学習・習得する。				統計学的処理が行えるための知識の習得と臨床研究が必要十分な条件のもと行えるよう計画できる知識の習得する。				小児外科における最新の情報を生産し、発信できる能力を身につける。			
事前事後学修	小児外科総論について、全般にわたる予習。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				小児外科各論において、各分野についての深い知識の獲得。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				小児医療について現在、将来にたいする探究心の準備。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度 50% (発表、課題提出) レポート提出 50%				受講態度 50% (発表、課題提出) レポート提出 50%				受講態度 50% (発表、課題提出、研究発表) レポート提出 50%			

■主な演習(講義・実習含む)

小児外科学Ⅰ (1年次)		小児外科学Ⅱ (2年次)		小児外科学Ⅲ (3年次)	
板橋	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00	月 曜日 15 : 00 ~ 17 : 00	月 曜日 17 : 00 ~ 19 : 00		
	小児外科 総論	小児外科 各論	小児先端医療		
	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00		
	手術、検査手技1	手術、検査手技2	手術、検査手技3		
	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00		
	小児外科1	小児外科2	小児外科3		
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :		
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :		
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :		
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :		

教科書・参考書

講義内で紹介

その他履修上の注意事項

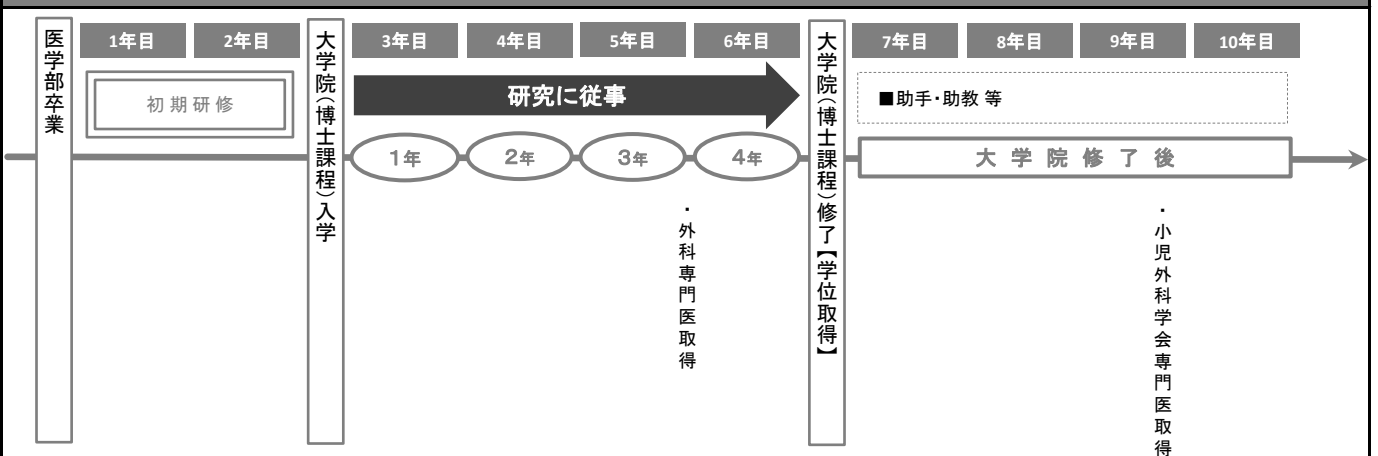
講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	
	共通科目	外科学概論

関連する専門医資格

外科専門医、小児外科専門医

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。